

令和 5 年 9 月 8 日
September 8, 2023

大学院学生各位
To All Graduate Students

2023 年度
基盤医学特論 開講通知
Information on Special Lecture Tokuron 2023.4-2024.3

題目： 女性の生殖と健康における卵巣予備能検査の意義
Title： Ovarian reserve and reproductive health in women

《概要》

抗ミュラー管ホルモン(Anti-Müllerian hormone: AMH)は、もともと内性器の分化に関わる物質として同定された。一方、卵巣においてはヒトでは胎生 25 週ごろから、AMH が産生されるようになる。AMH は、ほぼ特定の発育段階にある卵胞の顆粒膜細胞のみで産生・分泌されるため、AMH が全残存卵胞数を直接表す指標ではないものの、“機能的”に卵巣予備能の指標になることは容易に推測できる。AMH の臨床応用は 2000 年代初頭から、生殖補助医療における卵巣の反応性予測から始まったが、現在は卵巣手術や抗がん剤治療による卵巣予備能低下の評価、多嚢胞性卵巣症候群の補助診断、閉経や早発卵巣不全予測などに適応が拡大され、その有用性の評価が継続されている。本講演では、評価が定まりつつある AMH の臨床応用について、女性の生殖と健康の視点から現状と今後の展望について概説する。

講師：岩瀬 明 先生（群馬大学大学院医学系研究科産科婦人科学講座 教授）

Teaching Staff: **Prof. Akira Iwase**
(Obstetrics and Gynecology, Gunma University Graduate School of Medicine)

日時：令和 5 年 9 月 22 日(金) 18 時 00 分より (90 分)
Time and Date: September 22 (Fri.), 2023 18:00~ (90 minutes)

場所：医系研究棟 1 号館 5 階 産婦人科医局カンファレンスルーム

Room: Conference Room of Department OBGY,
#5 floor of Medical Science Research Building 1

言語：日本語 Language: Japanese

※関係専門分野・講座等の連絡担当者：産婦人科学 中村智子、大須賀智子（内線 2261）
Contact: Tomoko Nakamura, Satoko Osuka, Department of Obstetrics & Gynecology (Ext. 2261)
(事前の申込みは不要です。No Registration Required.)

【注意事項】 ※講義開始 15 分以降の参加は、出席と認めません。

Participation beyond the first 15minutes of the lecture will NOT be considered as attendance.

医学部学務課大学院係
Student Affairs Division, Graduate School of Medicine